

＝執筆者紹介＝

- 老川慶喜** 立教大学名誉教授・立教学院百五十年史編纂委員長  
1950年生 経済学博士  
単著『鉄道と観光の近現代史』（河出書房新社 2017年）、『小林一三—都市型第三次産業の先駆的創業者』（日本の企業家5 PHP 研究所、2017年）、『満州国の自動車産業—同和自動車工業の経営史』（日本経済評論社、2020年）、共編著『帝国日本の観光—政策・鉄道・外地—』（日本経済評論社、2022年）ほか
- 寺崎昌男** 立教大学・東京大学・桜美林大学名誉教授  
1932年生 東京大学教育学博士  
単著『大学の自己変革とオートノミー—点検から創造へ』（東信堂、1998年）、『日本近代大学史』（東京大学出版会、2020年）、『大学研究の六十年』（評論社、2021年）、共著『大学教育』（戦後日本の教育改革9 東京大学出版会、1969年）ほか
- 吉川卓治** 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授  
1963年生 博士（教育学）  
単著『公立大学の誕生—近代日本の大学と地域—』（名古屋大学出版会、2010年）、『「子ども銀行」の社会史—学校と貯金の近現代—』（世織書房、2016年）、共編著『名古屋大学の歴史 1871～2019』上・下（名古屋大学出版会、2022年）ほか
- 吉田 亮** 同志社大学社会学部教授  
1957年生 Ph.D.（神学大学院連合：パークレー）  
単著『アメリカ日本人移民とキリスト教社会—カリフォルニア日本人移民の排斥—どうかとE・A・ストージ』（日本図書センター、1995年）、『アメリカ日本人移民キリスト教徒人種主義—サンフランシスコ湾岸日本人プロテスタントと多元主義・越境主義 1877～1950年を中心に』（教文館、2022年）、共著『宣教師と日本人—明治キリスト教史における受容と変容』（教文館、2012年）ほか
- 大日方純夫** 早稲田大学名誉教授  
1950年生 博士（文学）  
単著『「主権国家」成立の内と外』（日本近代の歴史2 吉川弘文館、2016年）、『小野梓 未完のプロジェクト』（富山房インターナショナル、2016年）、『世界の中の近代日本と東アジア』（吉川弘文館、2021年）ほか

- 小林和幸** 青山学院大学文学部教授  
1961年生 博士（歴史学）  
単著『明治立憲政治と貴族院』（吉川弘文館、2002年）、『谷干城—憂国の明治人』（中公新書、2011年）、『国民主義の時代』（角川選書、2017年）、編著『東京10大学の150年史』（筑摩選書、2023年）ほか
- 大西比呂志** フェリス女学院大学国際交流学部教授  
1955年生 修士・政治学（早稲田大学）  
単著『大江卓の研究』（芙蓉書房出版、2023年）、『横浜市政史の研究』（有隣堂、2004年）、共編著『首都圏形成の戦後史』（日本経済評論社、2023年）ほか
- 太田久元** 立教学院史資料センター助教・センター員  
2015年 立教大学大学院文学研究科史学専攻博士課程後期課程修了  
博士（文学）〈立教大学〉  
単著『戦間期の日本海軍と統帥権』（吉川弘文館、2017年）、共著：兒玉州平・手嶋泰伸編『日本海軍と近代社会』（吉川弘文館、2023年）、小林和幸編『東京10大学の150年史』（筑摩選書、2023年）ほか
- 田村俊行** 立教学院史資料センター助教・センター員  
2018年 立教大学大学院文学研究科史学専攻博士課程後期課程修了  
博士（文学）〈立教大学〉  
論文「19世紀後半イングランドにおける篤志病院のヴォランティアズム—接触伝染病予防法の交付金に着目して—」（『西洋史学』第264号、2017年）、分担執筆「性感染症と社会」日本医史学会編『医学史事典』（丸善出版、2022年）、「売買春と性病予防法」山口みどり他編『論点・ジェンダー史学』（ミネルヴァ書房、2023年）ほか
- 宮本正明** 立教学院史資料センター助教・センター員  
2003年 早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学  
編著 李盛煥・木村健二・宮本正明編著『近代朝鮮の境界を越えた人びと』（日本経済評論社、2019年）、論文「植民地朝鮮における関東大震災の受けとめ方—震災時の流言・虐殺に対する姿勢を中心に」（『大原社会問題研究所雑誌』第782号、2023年12月）ほか